

4 オープニング ～あしたのピースって？～

○開催目的

ボランタリーフォーラム TOKYO2016 のオープニングとして、フォーラム実行委員会メンバーが、それぞれのプログラムのねらいや想いについてお話しします。

今年の全体テーマは「私たちがつくる あしたのピース」。「あしたのピース」について、このボランタリーフォーラムでどんなことを考え、学び、話し合うのかをいっしょに考えます。

○開催日時

2月13日（土）10：00 ～ 10：30

○参加者数・出演者・団体

参加者数：57名（参加者49名、出演者3名、スタッフ5名）

出演者・団体：鹿住 貴之さん（認定NPO法人JUON〔樹恩〕NETWORK）

志田 五十鈴さん（こまえボランティア・センター）

上田 英司さん（NPO法人NICE）

○プログラム内容・成果と課題

オープニングでは、ボランタリーフォーラムでどのようなことを目指すのか、何を行うかを、実行委員の3名が鼎談する形で進めました。

●紹介した内容

・ボランタリーフォーラムのテーマ「私たちがつくる あしたのピース」の意図

戦後70年という節目の年に、安全保障関連法案が成立し、私たちの暮らしのなかで、平和ということを改めて考える必要が出てきました。世界情勢を見渡しても、混とんとした状況があり、誰もが自分らしく、日々平和に暮らすことのできる豊かな社会を築いていくために、一人ひとりが大切な役割、「ピース」を担っていくという想いを込めて、このテーマに決定しました。各分科会で、誰もが自分らしく、平和に暮らすということは、どんな社会なのかを考え、自分がそのテーマに対して、どのようにコミットしていくかを考えてほしいと思っています。



・ボランティアフォーラムのこれまでの経緯や歴史の共有

ボランティアフォーラムが始まったのが、2004 年。もともと、啓発的なものとして「ボランティアまつり」が 10 年、その後、福祉以外にも広がった、見本市的な場所として「ぼらんていあ・めっせ」が 10 年それぞれ行われました。そして、2004 年からより研究集会的な意味合いを持つものとして「ボランティアフォーラム」が始まりました。ボランティアフォーラムの初期のころは、「つなぐ つながる つなぎあう」というテーマを 3 年間継続していましたが、当時の社会背景から、地域社会において人と人のつながりの希薄化を改めて問い直すために実施しました。その後も、毎年テーマを変えて行っています。「危機（クライシス）に立ち向かう市民活動」というテーマで、大きく課題を投げかけるような年もありました。

・ボランティアフォーラムの実行委員会について

ボランティアフォーラムの実行委員会は、分野・地域・セクターを横断したボランティア・市民活動にかかわるメンバーで組織されています。実践の中で直面している課題や想いをもとに、時間をかけてプログラムをつくりあげてきました。実際の実行委員会は、いい意味で“ごちゃ混ぜ”といった様子で、多様な議論のなかで進めてこられたことが強みです。

・今年のボランティアフォーラムの見どころの紹介

今年のボランティアフォーラムでは、フィールドワークを取り入れており、前日の新宿歌舞伎町でのごみ拾いや靖国神社を訪れるプログラム、狛江市で行われる常設のプレーパーク見学の 3 つのプログラムが用意されています。また、公募企画で、市民の方からの提案で作られた分科会があったり、実行委員会が情熱をかけて作り上げた分科会ばかりですので、楽しみにご参加いただきたいと思います。

○担当者・記録

《担当》	上田 英司（NPO 法人 NICE）
《運営サポート》	鹿住 貴之（認定 NPO 法人 JUON〔樹恩〕NETWORK）
	志田 五十鈴（こまえボランティア・センター）
	小川 美佐子（NEC ネットエスアイ株式会社）
	筋 清（運営ボランティア）
	小杉 弘美（運営ボランティア）
《記録》	上田 英司（NPO 法人 NICE）
	川崎 淳哉（運営ボランティア）

